

特別支援学校中学部生徒の
登下校時の荷物の片付けや準備を
一人で行うことができるための支援

【指導目標①】

- ・朝の登校後に、荷物の片付けを一人で行うことができる。

【対象生徒】

- 中学部生徒 知的障がい
- 発達年齢：3歳前半
- イラストや写真の付いたスケジュールを確認し、スケジュール通り活動に取り組むことができる。
- 急な変更があっても受け入れて行動することができる。

【なぜこの目標？】

- 荷物の片付けの途中で行動がとまってしまう。
(注目獲得行動?)
- 連絡帳の提出やカバンの片付け等, できる部分もあるが, メガネケースや手提かばんを置く位置が定まらず, やり直しが必要なことがあった。(手順が不明瞭?)



一人でできることを増やし, 荷物の片付け後, スムーズに次の活動(着替え)に移行できるようにしたい!

【支援の方法は……】

- チェックリストがあれば一人できるのではないか？
→ カードを落とす, 鉛筆でチェックする方式の手順書は時間がかかってしまう…
- 朝の会, 帰りの会のときに, keynoteを使って上手に司会をすることができている。慣れている方法ならスムーズにチェックできるはず!
- iPadの画面ならば, 文字といっしょに大きめのカラー写真を見て片付けでき, 活動内容が分かりやすいのではないか。
- 教員が内容を変更・編集しやすい!

【支援の方法】

- keynoteで チェックリストの作成。
- メガネケースや手提げかばん, 衣類持ち帰り用ふくろを置く位置を, 写真と仕切りで視覚的に分かりやすくする。

学年・生徒氏名(イニシャル): 中学部生徒

担当教員: A

指導場面: 朝の登校時

A(環境設定や教示)

- ・教える手順を時系列に書く
- ・修正の仕方を書く 等

B(指導目標)

- ・2~3週間で達成できる
- 具体的な目標を記入する

C(結果)

- ・強化の仕方

○ステップ1 (9月26日に8項目だったものを9項目に修正)

- ・iPadのkeynoteで写真と文字で表したリストを用意する。
- ・児童の机の横にリストを置き, 全体の流れを示す。
- ①水筒を置く。
- ②メガネをかける。
- ③メガネケースを机に片付ける。
- ④連絡帳を出す。
- ⑤放デイ用の手さげカバンを出す。
- ⑥カゴをロッカーから取り出す。
- ⑦着替えをカゴに入れる。
- ⑧衣類持ち帰り用ふくろをロッカーに入れる。
- ⑨カバンをロッカーに入れる
- ・メガネケースやデイ用の手さげカバン, 衣類持ち帰り用ふくろの定位置を決め, 置く場所を視覚的に分かりやすく示す。
- ・はじめは身体ガイダンスを行う。
- ・身体ガイダンスを徐々に減らしていく。
- ・リストの行動を全て達成したときは称賛を行う。

・9月15日~9月22日まで
8項目で実施。
・9月26日より9項目で実施。
⑥を追加した。

①朝の登校後に
荷物の片付けを
一人で行うこと
ができる。

- ・リストの行動中に「そうそう。」と称賛する。
- ・リストの行動が全てできたときは, グッドサインと声かけで称賛する。

教材: ロッカー, かばん, 道具箱, iPad

学年・生徒氏名(イニシャル): 中学部生徒

担当教員: A

指導目標: ①朝の登校後に荷物の片付けを一人で行うことができる。

指導場面: 朝の登校時

【指導期間】

- ・ベースライン 9月1日～9月14日
- ・指導スタート
- ステップ1: 9月15日～ 9月22日
- ステップ2: 9月26日～ 9月30日
- ステップ3: 10月3日～10月26日

【達成基準】

- ・朝の登校後に荷物の片付けを教員の支援なしで一人で行うことができる。
- ・5回実施したうち、4回以上2点だったら達成とする。

【中止・再考の基準】

- ・5回実施したうち、3回0点だった場合は支援の方法を再考する。

【記録表】 記録の取り方: 身体ガイダンスなしでできた(2点), 身体ガイダンスありでできた(1点), 身体ガイダンスありでもできなかった(0点)

ステップ1: 8項目のリストを用意して指導開始。(9月15日～ 9月22日)

ステップ2: ・道具箱内の仕切りが動かないようテープで固定する。
 ・着替えを用意する前に「⑥カゴをロッカーから取り出す」を追加する。
 9項目のリストを用意する。(9月26日～ 9月30日)

ステップ3: ・道具箱を引き出す動きも含めて必要に応じて身体ガイダンスを行う。
 ・keynoteのリストを表示する順序や、使用している写真を変更する。(10月3日～10月26日)

☆指導目標：朝の登校後に荷物の片付けを一人で行うことができる

・身体ガイダンスなしでできた…2点, 身体がダンスありでできた…1点, 身体ガイダンスありでもできなかった…0点

- ・ベースライン (9月12日月～9月14日水) 項目8こ
- ・ステップ1 (9月15日木～9月22日木) 項目8こ
- ・ステップ2 (9月26日月～) 項目9こ

	ベースライン				ステップ1 指導開始			
	9月12日 (月)	9月13日 (火)	9月14日 (水)		9月15日 (木)	9月16日 (金)	9月21日 (水)	9月22日 (木)
①水筒を置く	2	2	2		1	2	2	2
②めがねをかける	0	2	2		1	1	2	2
③めがねケースを机に片付ける	0	0	0		1	1	1	1
④連絡帳を提出する	2	2	2		1	2	2	2
⑤デイ用のカバンを出す	2	2	2		1		2	2
⑥着替えをカゴに入れる	0	2	2		1	2	1	1
⑦衣類持ち帰り用袋をロッカーに入れる	2	2	2		1	1	1	2
⑧カバンをロッカーに入れる	2	2	2		1	2	1	1

○ステップ1:指導開始

- ③の「メガネケースを机を片付ける」について、机の中には入れるが、道具箱の中の仕切りの中に入れて、机の中にそのまま入れ、机の奥に押し込んでしまった。
→道具箱の中に入れていくのか？ ステップ2で、道具箱内の仕切りが動かないようテープで固定する。
- 着替え用のカゴを取り出すのを忘れ、ロッカーまで取りに戻ってしまうことがあった。
→ステップ2で、スライドに項目を追加して忘れないようにする。

☆指導目標：朝の登校後に荷物の片付けを一人で行うことができる

・身体ガイダンスなしでできた・・・2点，身体がダンスありでできた・・・1点，身体ガイダンスありでもできなかった・・・0点

・ステップ2（9月26日月～

項目9こ

・ステップ3（10月3日月～

スライドの表示変更

ステップ2

	9月26日（月）	9月28日（水）	9月29日（木）	9月30日（金）	
①水筒を置く	2	1	2	2	
②めがねをかける	2	2	2	1	
③めがねケースを机に片付ける	2	1	1	1	
④連絡帳を提出する	2	1	2	2	
⑤デイ用のカバンを出す	2	2	2	なし	
⑥カゴをロッカーから取り出す	1	2	2	1	
⑦着替えをカゴに入れる	2	2	2	2	
⑧衣類持ち帰り用袋をロッカーに入れ	2	2	2	2	
⑨カバンをロッカーに入れる	2	2	2	2	

○ステップ2：・道具箱内の仕切りが動かないようテープで固定する。

・スライドに「カゴをロッカーから取り出す」の項目を追加。

● 26日，1人でメガネケースを正しく机に片付けることに成功した。しかし，28日以降は再度間違った位置に片付けてしまった。

→ 本人の確認ミス？ 注目獲得行動？ ステップ3でも，道具箱を引き出す動きも含めて必要に応じて身体ガイダンスを行う。

● Keynoteに追加した⑥の項目を見ながら，カゴを準備できることが増えたが，定着までは至らなかった。

→ 生徒の動線に合わせ，keynoteのリストの⑥⑧を並べて表示することで，ロッカーへの往復回数を減らす。

カバンが変わったので，使用している写真を生徒が現在使用しているものに差し替えて，より分かりやすい表示に変更した。

☆指導目標：朝の登校後に荷物の片付けを一人で行うことができる

・身体ガイダンスなしでできた・・・2点, 身体がダンスありでできた・・・1点, 身体ガイダンスありでもできなかった・・・0点

	ステップ3													目標達成!			
	10/3	10/4	10/5	10/6	10/7	10/12	10/13	10/14	10/17	10/18	10/19	10/20	10/21	10/24	10/25	10/26	
①水筒を置く	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
②めがねをかける	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
③めがねケースを机に片付ける	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
④連絡帳を提出する	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
⑤デイ用のカバンを出す	2	なし	2	なし	なし	2	2	なし	2	2	2	2	なし	2	2	2	
⑥カゴをロッカーから取り出す	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	
⑦着替えをカゴに入れる	1	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	
⑧衣類持ち帰り用袋をロッカーに入れ	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
⑨カバンをロッカーに入れる	2	2	2	2	2	1	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	

ステップ3: ・ 道具箱を引き出す動きも含めて必要に応じて身体ガイダンスを行う。
 ・ keynoteのリストを表示する順序や, 使用している写真を変更する。

- 道具箱を引き出してメガネケースを片付けることが増え, 12日以降は確実にできるようになった。
- スライドで確認した順番どおり, スムーズに朝の準備をすることができた。

①すいとうをおく



②メガネをかける



③メガネケースをいれる



れんらくちょうをだす



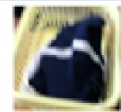
てさげをおく



ふくろをかたづける
かごをだす



きがえをカゴにいれる



かばんをロッカーにいれる



スケジュールをみる



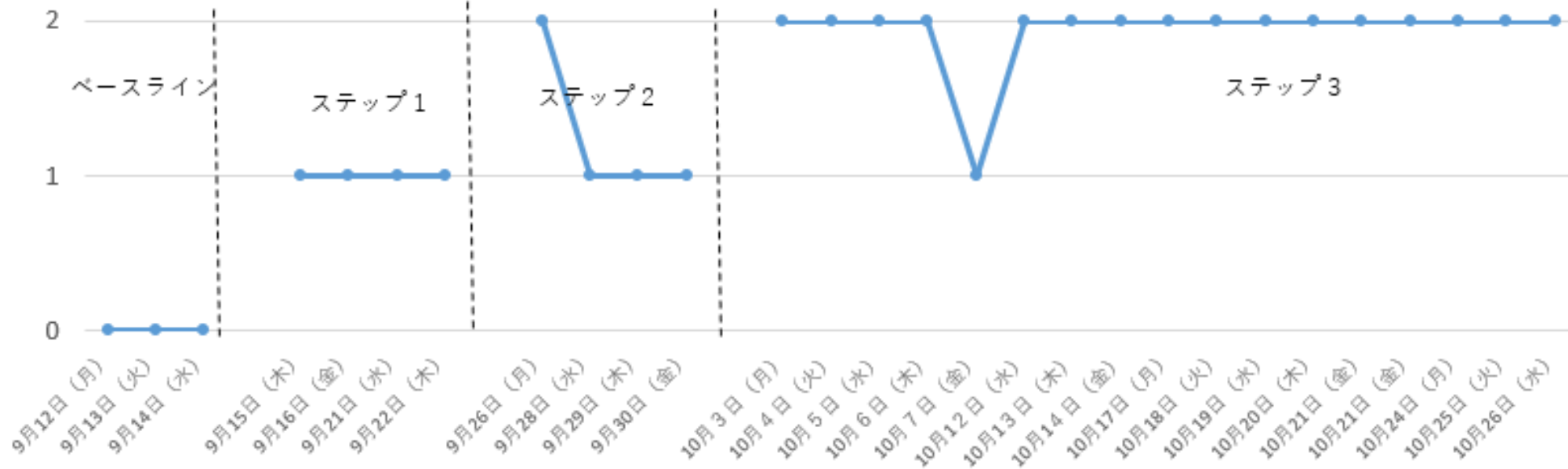
ステップ3で使用したスライド

← 追加した項目

スライドに写真を並べて表示すると、ふくろをロッカーに入れに行ったタイミングでカゴを取り出すことができた。

☆メガネケースを机の中の正しい位置に片付けることができたか

(点)



- ステップ1: 机の中には入れるが, 道具箱の中の仕切りの中に入れずそのまま入れ, 机の奥に押し込んでしまった。
→入れにくいのか? ステップ2で, 道具箱内の仕切りが動かないようテープで固定する。
- ステップ2: 26日, 一人で正しく道具箱に片付けることに成功した。しかし, 28日以降は再度間違った位置に片付けてしまった。
→ 本人の確認ミス? 注目獲得行動? ステップ3でも, 道具箱を引き出す動きも含めて必要に応じて身体ガイダンスを行う。
- ステップ3: 身体ガイダンスを行わなくても, 10月3日からほぼ毎日一人で正しくメガネケースを机の中の正しい位置に片付けることができた。

【今後の課題】

- ・家庭からの手紙を提出する等,項目を増やしても確実に片付けできるように練習を行っていききたい。
- ・帰りの荷物の準備も同様の方法で実施し,一人でできることを増やしていききたい。
- ・覚醒レベルが高いときは,ミスすることが多かったため,その記録も取り傾向を探る。
→ 環境等を整えて安定して取り組めるようにする。

【指導目標②】

- ・下校の準備のときに、荷物の準備を一人で
行うことができる。

学年・生徒氏名(イニシャル): 中学部生徒

担当教員: A

指導場面: 下校時

A(環境設定や教示)

- ・教える手順を時系列に書く
- ・修正の仕方を書く 等

B(指導目標)

- ・2～3週間で達成できる
- 具体的な目標を記入する

C(結果)

- ・強化の仕方

○ステップ1

- ・iPadのkeynoteで写真と文字で表したリストを用意する。
- ・児童の机の横にリストを置き、全体の流れを示す。
- ①リュック・衣類持ち帰り袋・連絡帳を机上に持ってくる。
- ②連絡帳を入れる。
- ③衣類持ち帰り袋を入れる。
- ④体操服を入れる。
- ⑤衣類カゴをロッカーに戻す。
- ⑥メガネを外す。
- ⑦メガネケースを入れる。
- ⑧水筒を入れる。
- ・はじめは身体ガイダンスを行う。
- ・身体ガイダンスを徐々に減らしていく。
- ・リストの行動を全て達成したときは称賛を行う。

②下校の準備のとき、
荷物の準備を一人
で行うことができる。

- ・リストの行動中に「そうそう。」と称賛する。
- ・リストの行動が全てできたときは、グッドサインと声かけで称賛する。

教材: ロッカー, かばん, 道具箱, iPad

学年・生徒氏名(イニシャル): 中学部生徒

担当教員: A

指導目標: ②下校の準備のとき, 荷物の準備を一人で行うことができる。

指導場面: 下校時

【指導期間】

・指導スタート

ステップ1: 11月15日～ 11月21日

ステップ2: 11月22日～

【達成基準】

・下校の準備のとき, 荷物の準備を教員の支援なしで一人で行うことができる。

・5回実施したうち4回以上2点だったら達成とする。

【中止・再考の基準】

・5回実施したうち, 3回0点だった場合は支援の方法を再考する。

【記録表】 記録の取り方: 身体ガイダンスなしでできた(2点), 身体ガイダンスありでできた(1点), 身体ガイダンスありでもできなかった(0点)

ステップ1: リストを用意して指導開始。(11月15日～11月21日)

ステップ2: keynoteに使用している写真を追加・変更し, 視覚的により分かりやすいものにする。(11月22日～)

☆指導目標：下校の準備のとき、荷物の準備を一人で行うことができる

・身体ガイダンスなしでできた…2点、身体がダンスありでできた…1点、身体ガイダンスありでもできなかった…0点

	11/15	11/16	11/17	11/18	11/21
①リュック、衣類持ち帰り袋 連絡帳を机に持ってくる	1	1	1	1	1
②連絡帳を入れる	1	2	2	1	2
③衣類持ち帰り袋を入れる	1	1	2	2	1
④体操服を入れる	1	2	2	2	2
⑤衣類カゴをロッカーに戻す	1	2	2	2	2
⑥メガネをはずす	1	2	2	2	2
⑦メガネケースを入れる	1	2	1	2	2
⑧水筒を入れる	1	1	1	2	1

○ステップ1 指導開始 11月15日～11月21日

●①, ③の項目で、連絡帳や衣類持ち帰り袋をカバンに入れることを忘れる。

→ スライドの写真を変更し、分かりやすいものにする。

●⑧について、握力が弱く、操作する力が弱いためか、リュックのポケットに水筒を差し込めず、教員が身体ガイダンスで支援を行った。

→ 自立活動等でも手指の力を強化するトレーニングを行う。

☆指導目標：下校の準備のとき、荷物の準備を一人で言うことができる

・身体ガイダンスなしでできた…2点, 身体がダンスありでできた…1点, 身体ガイダンスありでもできなかった…0点

目標達成!

	11/22	11/24	11/25	11/29	11/30	12/1	12/5	12/6	12/7	12/8	12/9	12/12	12/13	12/14	12/15	12/16	12/20	12/21	12/22	1/11	1/12	1/13	1/16	1/17	1/18	1/19	1/20
①リュック, 衣類持ち帰り袋 連絡帳を机の上に持ってくる	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
②連絡帳を入れる	2	2	2	2	1	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
③衣類持ち帰り袋を入れる	2	2	2	2	2	1	2	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
④体操服を入れる	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
⑤衣類カゴをロッカーに戻す	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
⑥メガネをはずす	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	0	2	2	0	0	2	2	2	2	2
⑦メガネケースを入れる	2	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	2	2	2
⑧水筒を入れる	1	1	2	2	2	2	2	1	2	1	2	2	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2

○ステップ2 指導開始 11月22日～

- スライドの写真を変更後, 1点の項目が減り2点の項目が増えてきた。
- ⑧の水筒の片付けについて, 繰り返し練習するうちに, 自分で差し込めることが増えてきた。
- 1月20日に目標を達成した。 → 指導を継続し定着を図る。

●12月8日: お楽しみ会があり, 覚醒レベルが高くなり, 覚醒レベルが高いまま帰りの用意を開始したため, 1点の項目が多くなった。

●12月13日: これまで立位で準備していたことを座位で行ったため, 準備のペースが乱れたと思われる。

●12月20日, 21日と, 1月12日, 13日は, 6時間目にメガネを外していたため, 準備のペースが乱れたと思われる。

【考察】

・iPadのスライドを用いた活動のリストの使用は一度獲得したスキルなので、場面が変わっても本人の負担無く取り組むことができた。

・普段と違うことがあるとペースが乱れることがあるので、事前にスケジュールで活動の流れを分かりやすく伝えておく必要がある。

(…… →水分補給→トイレ→着替え→下校準備→ ……)

・握力が弱いため、荷物が多いときには、荷物をリュックにつめたり、ファスナーを閉めたりすることが難しいことがある。

→その場面に合わせて教員へ援助要求ができるように、「手伝ってください」カードで意思を伝える練習を繰り返し行っていきたい。

【本事例を通して】

- ・本生徒は、視覚支援が有効であり、今回の事例では、スライドに表示したリストを見ながら安心して活動に取り組むことができた。引き続き色々な指導場面で、活用していきたい。
- ・援助要求がひかえめなため、「手伝ってください」カードを使用する場面を設定して意思を伝える練習を行っていきたい。